

小布施町立栗ガ丘小学校の稲刈り体験がありました

10月3日（火）、小布施町立栗ガ丘小学校5年生の稲刈り体験学習がありました。

この体験は食農教育の一環として毎年行われており、小布施町農業再生協議会をはじめ小布施町教育委員会やJAなどの関係機関が見守る中、児童たちが水稲栽培に必要な作業を経験します。6月9日には児童たちが長野県オリジナル品種「風さやか」の田植えを行い、植えた苗は大きく黄金色に実っていました。

最初にJA職員から稲刈りのやり方と鎌の安全使用について説明があり、大人たちが見守る中、友達と鎌を貸し合いながら稲刈りを行いました。はじめはうまく刈り取れず苦戦している様子でしたが、すぐにコツを掴んでどんどんと刈り進めていました。稲を学校に持って帰るための軽トラックはすぐにいっぱいになり、児童からは「もっとやりたい!」「早く食べてみたい!」と声があがっていました。

持ち帰った稲は、はぜ掛けをして乾かした後児童たちで脱穀する予定です。学校給食では「風さやか」が提供されていますが、児童たちが稲刈り作業を思い出しながら味わって食べてくれることを期待しています。

また、この経験を通して農作業の楽しさを感じ、児童たちにとって大人になっても忘れない良い思い出になって欲しいと思います。

(地域第三係 木船)



稲刈りの説明を受ける児童たち



稲刈りをする児童たち